



子ども樹木博士 ニュース

2022-6

No. 87

子ども樹木博士認定活動推進協議会

巻頭言



ハロウィンアレンジメントと 森のようちえん



高野山大学教育学科 特任准教授 柳原 高文

昨年、北海道から大阪府に移住しました。河内長野キャンパスの西側に放置されていた河岸段丘斜面林があり、私の担当する教育学科の科目「地域体験」で森を整備し、活動できる遊歩道を作りました。そこで、連携する幼稚園の園児を対象として「森のようちえん」を行うことを計画しました。この地では「森のようちえん」という活動が知られていないことから、幼稚園教師に森を見てもらい実践方法を協議することから始まりました。幼稚園教師から「森のようちえん」という言葉も、その教育的効果も保護者に知られていないこと、自然体験の少ない園児がいることから、いきなり森に行くことに不安を抱く園児や保護者がいるのではないかという意見がでました。そこで、時期的に子供が好きなハロウィンがあることから「ハロウィンアレンジメントと森のようちえん」というイベントを企画し園児家族を募集することとし、ハロウィンアレンジメント後にそれにまつわる装飾で使うクモのお話を森につなげ、園児を森に連れて行く方法をとることとしました。

森での活動経験の少ない園児が多く、森の小道を歩く際にも微妙な傾斜や凹凸に苦労しながら歩いていました。途中で見つけたイタチの糞に興味を示す園児たちがありました。糞の大きさ、糞に残る食べ物の種子、目立つ場所に糞をしてテリトリーを示す行動などの話

をすると、園児たちは驚くと同時に、森にはベツトではない生き物たちがくらしているのだという異次元の感覚を味わっていました。そして、頭上のジョロウグモの姿を確認すると、出発前に聞いたクモのお話を思い出し、お友だちを見つけたような笑顔を見せていました。森は虫が多くいる場所だから嫌だと思ふ保護者や幼児がいますが、自分にとって不愉快な虫を排除したり、虫のいる場所に近づかないようにしたりするのは、「同じ生き物のお友だち」という感覚を持ってもらうことも「森のようちえん」の目的の一つです。

途中でどんぐりを拾い、お気に入りのどんぐりを手に持ち「どんぐりじゃんけん、じゃんけん、ポン」でどんぐりを見せ合う活動を行いました。どんぐりじゃんけんでは、「これは可愛いね!」「これは大きいね!」など、どんぐりにも多様性があり、周りの動植物はどれも個性があり、森には何一つとして同じものはなく、どれも素敵であり、私たち人間にも個性がありどの人も素敵であることなどの話をして活動は無事終了しました。

日常と違う環境で活動することは、幼児たちに環境に適応する自信と能力を身に付けさせる学習効果があります。森から戻った園児たちは口々に楽しかったと感想を述べていたことが今回の成果であると思います。

【目次】

巻頭言	ハロウィンアレンジメントと森のようちえん	高野山大学教育学科 特任准教授 柳原 高文 … 1
特集Ⅰ	植物の不思議 ホオノキの戦略	森林インストラクター 安楽 行雄 … 2
特集Ⅱ	観察会テンパリ日記(25)	森林インストラクター・樹木医 岩谷 美苗 … 3
事例報告	みどりの少年隊指導者研修会の開催	森林インストラクター・岡山県森林インストラクター会会長 梶原 利廣 … 4
シリーズⅠ	樹木名の話(25) —オウチとセンダンの歴史—	森林植物研究者 埴田 宏 … 5
シリーズⅡ	東南アジアの木々たち(55) —植物の成分と人との関わり②—	自然と植物の観察会 TREECIRCLE 梅本 浩史 … 6
子ども樹木博士質問コーナー(67)		(一社)日本森林インストラクター協会 会長 寺嶋 嘉春 … 7
事務局だより		8

特集 I

植物の不思議 ホオノキの戦略

—種子と鳥散布—



森林インストラクター 安楽 行雄

ホオノキは樹木の単葉で一番大きな葉を有していると思っています。花も大きいですがタイサンボクの花よりは小さい。私が観察して一番驚いたのは、鳥に種子を食べてもらう方法として、白い糸状の種糸（珠柄・種子柄）で種子をぶら下げることでした。

ホオノキは落葉高木で沖縄を除く全国に分布しており、身近で観察でき、葉が大きいので1回観察すると忘れることはできません。

北の観光地（飛騨市高山）では葉の上に味噌や食材を載せて焼く「ホオバ味噌」の料理が有名です。友達から旅行のお土産に12枚くくりのホオノキの葉をもらったときには、どうして使えばいいのか戸惑ったのを覚えています。

葉の葉柄が3~4cm、長さ20~40cm、幅13~25cmと葉は長大です。葉には殺菌作用があることから、葉で食べ物（食品）を包むのに利用されたい。南国で食べ物を包むのに使われているのは竹の皮が一般的です。ちなみにホオノキのホオは包むという意味です。



ホオノキの葉

花は5~6月頃、上向きに咲き、薄い黄色がかかった白色の花で、径は15cm前後と大きく、樹高が高いことから森に行っても見過ごすことが多く、落下した花卉を見て花に気づくことが多いです。

果実は長楕円形で長さ10~15cm、幅（果実の直径）は5~6cmとなって集合果です。果実は袋状になっており、100個から150個の袋果で構成され、一つの袋果は赤い種子が2個入っています。



ホオノキの花と果実

袋果の外側は鋸状の付属体（トゲ）がついており、種子が幼いときに鳥など外敵に食べられないよう工夫されています。このままでは袋果の外に付いている刺状の付属物のため鳥は直接種子を食べることが出来ません。種子が熟すと袋果（2個の種子）が開き、赤い種子を白い糸状（種糸、珠柄・種子柄）でつり下げて、集合果の外へ垂下（長さ1cm程度）させて鳥に食べてもらうのです。

この仕組みを知ったときには、「動けぬ植物」の賢さに大変驚き、環境に適応するための工夫が、すごい年月を経て作り上げ（進化）られているのだと感心しました。



ホオノキの種子（ネットから）

特集Ⅱ

観察会テンパリ日記 (25)



森林インストラクター・樹木医 岩谷 美苗

草花あそびが意外にも今の子に受けてます。田舎育ちの私としては今更こんなの…と思うのですが、ツバキのゾウリを作ってあげると「オレにもビーサンくれ！」と取り合いになるし、子供だけでなくシニア世代にも作って見せると「どうやって作るの？わあステキ！」と残念ながら好評です。このように、もう草花遊びの伝承はこときれていて、大人や子供にとって新鮮な遊びになっています。葉のちぎり方でさえ教えると喜ぶんですよ。「クロマツの葉っぱで穴もあけられるよ」と教えると「すげー！」と感動してるし…イヌマキの手裏剣も作り方がわかると嬉しくて山のように作る子がいます。

ススキのロケットは、葉が裂けやすいのを利用して、真ん中の葉脈を飛ばして遊ぶのですが、手を切るので敬遠されます。現に保育士の知り合いにこれを教えたら、速攻で手を切っていました。今は子供が手を切ると一人一人家に連絡しないとイケないし、面倒なことがたくさんです。そこで手を切らないシュロでやれないか、作ってみました。ススキよりも短めにして、中心の葉脈が硬いものを選べば飛ぶことがわかりました。トウジュロの短くて葉脈がしっかりした葉がいい感じでした。素材選びが重要です。

子供「ススキとかでもできるの？」

私「そっちが本当だよ。でも手を切るから、気を付けないとだよ。」

子供「手袋すればいいじゃん！」

私はもやもやし始めました。はたして怪我せず飛ばせれば、それでいいのか？昔の子供も何度か手を切ってたと思います。大事なそこなんじゃないか？と…でも目の前で手を切られると困るので、「昔の子供は素手で手を切らないで遊んでたんだよね～工夫や観察で、できるんだよ！」と捨て台詞を言うことにしました。講座の中でやるのは手を切らないシュロでやり方だけ教えて、あとはみんな各自でススキに向き合ってくれ！と願いを込めるしかありません。





みどりの少年隊指導者研修会の開催 —岡山県森林インストラクター会における 子ども樹木博士認定活動について—



森林インストラクター・岡山県森林インストラクター会会長 梶原 利廣

岡山県森林インストラクター会では、岡山県緑化推進協会の依頼を受けて、みどりの少年隊指導者研修会を行いました。以下に実施結果を報告します。

日 時：2021.8.21(土) 9時30分～12時

天 候：曇り（直前まで雨）

担 当 者：森林インストラクター 2名

研修内容：植生の見分け方 「子ども樹木博士」

参 加 者：緑の少年隊指導者 26名

実施方法：26名を半分に分けて、2班で行動

コースは正方向と逆からの2コース



〈タイムスケジュール〉

10時30分～10時40分	進め方の説明
10時45分～11時30分	野外での樹木説明
11時30分～11時45分	休憩及び室内での樹木確認
11時45分～12時	検定
全日程終了前	
15時～15時10分	認定証授与 個人ごとに授与



【反省点】

- ・ 樹木名の名札を早朝1人で設置したが、もう一人が参加していなくて樹木説明時に発見できない樹木があった。樹木の確認は2人一緒に行くか事前に確認しておく。
- ・ 樹木説明の時間が45分と短かった。最低1時間は確保してもらうようにすること。15分の差は大きい。
- ・ 樹木の復習場所について、今回は施設のロビーが空いていたので広いスペースを確保出来たので良かった。このスペースは必要。会場の確保をしておくこと。
- ・ 検定の時間は15分で十分。これ以上だと間延びしてしまう。「メモ、スマホ等見ない、相談しない」ことを徹底した。



- ・ 認定証授与は、一人一人に授与することが肝心。団体にまとめて渡すのは避けたい。

最後に、指導者の研修なので、紹介した樹木の中に毒がある樹木に注目（キョウチクトウ、アセビ）。子供たちが口にしたりして無用な事故を未然に防ぐ必要性を強調した。

今回の研修会においては、コナラ、カナメモチ、ヒサカキ、タカノツメ、カクレミノ、キョウチクトウ、ムクゲ、アセビ、サカキ、ゴンズイ、ウバメガシ、アラカシ、アカメガシワ、クサギ、イロハモミジ、ソヨゴ、サクラ、ナンキンハゼ、ネムノキ、エゴノキの20の樹種の説明し検定を行った。

研修参加者の検定結果は、2段1名、初段8名、1級3名、2級2名、3級5名、4級3名、5級、6級、7級、8級各1名でした。

シリーズ I

樹木名の話 (25)
—オウチとセンダンの歴史—

森林植物研究家 埜田 宏

新緑の小さな葉をつけた枝を大きく広げ、うす紫の花をつけるセンダンの季節になりました。和名センダンと、成句（後述）に出てくる香木の梅檀は別の種ということは良く知られていますが、いくつかの誤解もあるので、歴史的な背景を探ってみました。



センダンの花、小さな花の集合は淡い藤色

牧野・新日本植物図鑑（北隆館，1961）には、「[日本名] 語源不明。香木の梅檀とは関係がない。オオチは古名である。[漢名] 楝」と簡潔に書かれています。

古名アフチの使用例を年代順に並べると、

- ・785年の万葉集：阿布知乃浪那、相市乃花など
- ・918年の本草和名：練實 和名阿布知之美
- ・935年の倭名類聚抄：楝 和名阿布智
- ・1001年の枕草子（37段）：「楝の花いとをかし」

当然ですが、アフチは万葉仮名や歴史的仮名遣いによる表記なので、発音を本則とする現代仮名遣いではオウチとなります（“オオチ”は間違い）。

センダンという名が登場したのは江戸時代以降で、

- ・1709年の大和本草：楝 和名ヲアフチト云、近俗センドアント云、梅檀ニハ非ズ
- ・1719年の東雅：楝 アフチ 俗にセンダンといふ
この頃から、アフチよりセンダンが多くなる。
- ・1884の日本植物名彙：センダン Sendan 楝

これ以降、センダンが標準名となっていますが、漢字表記は“楝”のまま、“梅檀”ではありません。

「梅檀は二葉より芳し」という成句は、五世紀に漢訳された「観仏三昧海経」が出典、「優れた人は幼い頃からその才能を発揮する」という意味で、鎌倉時代以降の物語に数多く引用されてきました。

- ・1220年頃の保元物語：乙若（源義円）を誉めるとき
 - ・13世紀中頃の平家物語：平資盛を非難するとき
 - ・1250年頃の撰集抄：11歳の三条実房を誉めるとき
- 成句の梅檀が和名オウチと混同された経緯については、次のように考察しました。

深津正（木の名の由来，東京書籍，1993）によると、和名センダンの語源は、多数の丸い果実を着けるため“千団子”に見立てたとしており、大津市の園城寺（三井寺）に伝わる“千団子祭”を傍証としています。

宗教行事を講ともいうので、“千団子講、せんだんごこう”、これが“せんだんごう”となり、よく知られている梅檀の成句から、梅檀講と書かれるようになり、オウチの別名である千団子が梅檀（センダン）と呼ばれるようになった。千団子祭りは600年前から行われているそうなので、およそ300年の年月をかけて「近俗センドアント云」となりました。



たくさんの丸い果実から“千団子”とも呼ばれた

注：センダン (*Melia azedarach*) の中国名は楝 (lian)、香木の梅檀 (zhan tan) はベンガル語の chandan (*Santalum album*) に漢字をあてたもの、現代中国では檀香 (tan xiang)。中国名の白檀 (bai tan) はサワフタギ属の *Symplocos paniculata* のことです。

シリーズⅡ

東南アジアの木々たち (55) —植物の成分と人との関わり②—



自然と植物の観察会 TREECIRCLE 梅本 浩史

草木が芽吹き、新緑から深緑へと移ろう光景を眺めていると、心がとても癒されますね。身近な野山や公園、町の小さな花壇や街路樹の緑を見ているとそう。

我が家でも、色んな植物たちが目を覚まし、その小さな命を眺めながら、元気を分けてもらっています。(^^)



今、南国のタイでは、美味しい果物の女王・マンゴスチンがお店に出回っており、山岳部に住むカレン族(首長族)の村では、もうライチが食べ放題なのだそうです。“強烈な臭い(^_^;)”でも有名な果物の王様・ドリアンは、この時期にだけ僅かに流通する高価な品種カーンヤオ種(ガンヤオ種)が、東部のお店に出回っています。ドリアンの生産地は、主にタイの東部にあります。とっても甘くて滑らかな食感が売りの高級品、一度は食べてみたいものですね。

さて、私たちが住んでいる日本の社会は、日々膨大な“情報”の影響を受けながら、とても多忙な生活を送っています。普段からあまり意識せずに取り取っている情報量を“時代”によって比較してみると、現代社会での1日分の情報量は、江戸時代の1年分、平安時代の一生分に相当する…と言うお話すら耳にします。

それは、ちょっと大き過ぎないかと、平安時代を生きた人の幽霊に叱られそうな気もしますが、現代社会はそれくらい膨大な情報量の中に生きている…と言うことは、なんとなく想像できますよね。過度な情報は、時に私たちの脳や心、大切な臓器や神経系などにも様々な悪影響を及ぼす事が医学的・科学的に知られています。

例えば、スマホやパソコン、ネットやゲームに強く依存した生活を送っていれば、テクノストレス症候群、VDT症候群などと呼ばれる病気を患う可能性が高まります。これらは、未だ世界中に深刻な感染被害をもたらし続ける“コロナ禍”と同じくらい注意をはらう必要があります、ストレス社会が生んだ代表的な現代病に数えられます。

(次回に続く)



子ども樹木博士質問コーナー(67)

一般社団法人日本森林インストラクター協会 会長 寺嶋 嘉春



- Q** ・ブナ林はどこで見られますか？(小学4年生)
 ・国語の教科書にブナの話がありました。ブナ林について教えてください。(小学5年生)
 ・社会の教科書で白神山地のブナについて勉強します。ブナについて教えてください。(小学5年生)

A ○ブナ林が見られる場所

ブナ林は、北海道の南部から九州まで、日本各地で見られます。世界では、北半球の3地域、東アジア、アメリカ東部、ヨーロッパで見られますが、特に日本には、美しいブナ林が見られ、東北地方の奥山にまとまって分布しています。白神山地は原生的な貴重なブナ林があり、世界自然遺産に指定されています。

○ブナが日本に多い理由

冬になると日本列島では、大陸から北西の季節風が吹きます。この季節風は日本海を渡ってきますが、このとき水分をたくさん含み、日本の列島の山地にぶつかると、たくさんの雪を降らせます。東北地方から北陸の山地は、世界有数の豪雪地帯といわれています。

雪は樹木に付着しますが、とても重いので枝や幹が折れたり、若い木は地面に押し付けられたりします。大雪が降る地域では、雪の重さに耐えて育つ樹種だけが残ります。ブナは、枝や幹が粘り強く雪深い山でも大きく育つ樹種なのです。

○ブナ林が見られる場所(散策適地)

ブナは、一部の府県を除き日本全国各地で見ることができますが、ブナのふるさととは、東日本の雪深い山奥です。

栃木県日光市にお住まいの森林インストラクター武井宏之氏は、東日本の主なブナ林を調査し『ブナ林ふたたび』という本を出版しました。調査結果と併せて、各県とも相談して東日本11県の「ブナ林の散策適地」を選定し紹介しています。

青森県：西目屋村白神山地ビジターセンター／岩手県：八幡平市 安比高原「ブナの駅」／秋田県：仙北市ブナの森森林公園／山形県：西川町 山形県立自然博物館／宮城県：大和町 升沢自然歩道／福島県：只見町「いやしの森と恵みの森」／新潟県：魚沼市 新潟県立浅草山麓遊々の森／十日町市「美人林」／栃木県：日光市 奥鬼怒スーパー林道沿いブナ林(女夫淵駐車場から先は一般車通行不可)／群馬県：沼田市「玉原(たんばら)高原センターハウス」／長野県：長野市 戸隠高原ブナ林コース／富山県：砺波市 旧利賀村「山の神ブナ原生林」

※詳細は、ネットで調べるか市町村にお問合せください。



いちはやく芽吹くブナ

○「緑のダム」としてのブナ林

首都圏の水がめといわれる利根川の源流地域は、多雪地帯であり、美しいブナ林があります。ブナ林の土はたくさんの水を含みます。以下の写真は、群馬県玉原高原の5月初旬のブナ林です。



玉原湿原 ダケカンバ ブナ林



ブナの根開け ブナの根元の雪が先に融ける



ブナ林のわき水

● ● 事務局だより ● ●

◆令和4年度 森林インストラクター「資格試験」と「養成講習Ⅱ」の申込みの受付が始まりました

◇受付期間：6月1日(水)～7月31日(日)

● 資格試験

■ 一次試験 令和4年9月25日(日) 9:30～15:40

■ 試験会場 札幌会場 北海道経済センター（札幌市中央区北1条西2丁目）

仙台会場 ショーケー本館ビル（仙台市青葉区五橋2-11-1）

東京会場 JA 共済ビジネスカンファレンスホール（ホール A-D）
（東京都千代田区平河町2丁目7番9号）

名古屋会場 東海工業専門学校金山校（名古屋市中区金山2-7-19）

大阪会場 ツイン 21MD タワー 8 会議室（20 階）（大阪市中央区城見2-1-61）

高知会場 高知城ホール（高知市丸ノ内2-1-10）

福岡会場 電気ビル本館（福岡市中央区渡辺通2-1-82）

● 養成講習Ⅱ（任意）

■ 日程等 令和4年8月13日(土)～20日(土)の8日間

■ 講習会場 林野会館 東京都文京区大塚3丁目28-7

（野外実習（1日）は八王子市の高尾山国有林の予定です。）

■ 科目等

森 林：森林の仕組み・植生の推移、樹木、森林の動植物、地質・土壌・水文など

林 業：山村と農林業、森林の効用、森林の施業、木材・特用林産物の利用など

野 外 活 動：森林レクリエーション、キャンピング、ネイチャークラフトなど

安全・教育：安全知識、救急法、環境教育、自然保護、指導技術、企画など

● 資料請求

申込用紙はホームページ（下記の URL）からダウンロードできます。

また、140円切手を貼った返信用封筒（角2型）を同封して申し込むこともできます。

● 申込先・問合せ先

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル6階

一般社団法人 全国森林レクリエーション協会

TEL：03-5840-7471 FAX：03-5840-7472

E-mail：info@shinrinreku.jp ホームページ：http://www.shinrinreku.jp

◆実施結果のご報告のお願い

子ども樹木博士認定活動（親子や大人を対象としたものも含みます。）を実施しましたら、当協議会会員、非会員を問わず、実施結果のご報告をお願いします。

報告用紙は、右記の URL のホームページから Word の用紙をダウンロードできます。報告用紙がない場合は、①実施団体名、②実施年月日、③募集人数、④参加人数、⑤対象者（小学生、親子など）、⑥実施場所を記載したメモを右記の FAX 又はメールで子ども樹木博士認定活動推進協議会までお送りください。お手数をおかけしますがよろしくお願いいたします。

子ども樹木博士ニュース

2022年6月1日 No.87

子ども樹木博士認定活動推進協議会

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル6階

一般社団法人全国森林レクリエーション協会内

TEL：03-5840-7471 FAX：03-5840-7472

E-mail：kodomohakase@shinrinreku.jp

URL：http://www.shinrinreku.jp/kyokai/kodomokyou.html

http://www.shinrinreku.jp/kodomo-n/main.html